

平成30年度 人権講演会「ネット依存」講演会のお知らせ

ネット依存の中高生93万人…5年で40万人増 今、子どものネット依存が大きな問題となっています！

下記講演会は、横須賀市立小・中・特別支援学校のPTA会員の皆さまならどなたでもご参加いただけます。(保護者、教職員、児童、生徒など)

内容は子ども向けとなっています。親子で聞ける大変貴重な講演会ですので、お問い合わせの上ご参加ください。

お申し込み方法は2通りあります。

- ① PTA(学校)に配布した申込用紙→PTA運営の方にご連絡ください。
- ② 市P協サイトより申込み。個人から直接お申し込みできます。
→市P協サイトをご確認ください。 <http://pta-yokosuka.com/>
(お申し込みは、12月上旬より受け付けます)

■講演会詳細

1. 日 時 平成31年2月23日(土) 14:00~16:00
2. 会 場 **横須賀市総合福祉会館 5階ホール** 横須賀市本町2丁目1 (汐入ショッパーズプラザ隣)
3. 内 容 子どもの「ネット依存」(仮)
4. 講 師 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 三原 聡子 先生

■お願い

- ※欠席遅刻の連絡を、会場にはしないでください。当日のご連絡は不要です。
- ※お子様と一緒に参加される場合は、お子様も人数に入れてお申し込みください。
- ※調節できる服装でご参加ください。
- ※会館の駐車場は狭いので、お車でのご来場はご遠慮ください。

※ 学校経由からでも申し込みできます。

ゲーム依存で脳の神経細胞が死滅！？

ネット依存症になった人の脳の画像を見てみると、神経細胞に死滅した部分が！
前頭葉(理性の脳)が未発達の思春期は依存になりやすい？！
使用開始年齢が低いほど、依存になりやすい？！

ゲームをするのを
やめられないとい
う精神的なことだ
けではなく、



- 島皮質と呼ばれる感情、感覚、欲望に関係する部位の細胞が死滅。
- 低栄養状態、骨密度低下、エコノミークラス症候群
- 睡眠障害、ひきこもり、うつ状態、昼夜逆転
- 家庭内の暴言、暴力、親子関係の悪化、友人関係の悪化、喪失。
- 上記諸々の影響による、不登校、学力低下

など

■講師 プロフィール

名前: 三原 聡子

所属: 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

職位: 主任心理療法士

略歴:

法政大学卒業後、埼玉県内精神科病院を経て、2009年より独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター勤務。

臨床心理士、精神保健福祉士。筑波大学大学院修士(カウンセリング)。

2011年ネット依存専門治療外来開設時よりネット依存の治療・研究に携わる。国内外の学会においてネット依存に関する発表を多数行う。

文部科学省委託事業「情報化の進展に伴う新たな課題に対応した指導の充実に係る調査研究」調査研究委員。同省委託事業「青少年教育施設を活用したネット依存対策研究事業」事業企画運営委員。インターネット使用障害に関するWHO 東京会議(2014年)事務局委員。WHO ソウル会議(2015年)およびWHO 香港会議(2016年)、WHOトルコ会議(2017年)参加者。



■H27年度講演会時の参加者感想(保護者)

- ・高学年の児童にもぜひ話を聞かせたい。アルコールやたばこは、開始年齢の制限があるが、ネットは全くないという言葉が印象深かった。
- ・スマホ・ネット依存を余り身近に感じていなかったが、かなりの恐怖を感じた。
- ・聞きやすく理解しやすかった。子どもも大人もすぐに手の届く世界だということに改めて気づかされた。ネットがなくなることは無いので、上手に付き合っていくことが大切。
- ・PCやモバイル、タブレットの専門用語がとても参考になった。息子が3DSのオンラインゲームにとってもはまっているので、注意が必要と思った。低学年もDSでオンラインをやっている子もいるので、教育が必要だと思う。
- ・子どものサインを見逃さないような、子どもとのコミュニケーションをとっていきたくと思った。親の課題であると思う。

お問い合わせ先

横須賀市PTA協議会 事務局 担当 浅井 香緒里

電話046-824-1478 FAX046-824-1480

お問い合わせEmail office@pta-yokosuka.jp

※お使いのスマホの受信許可をお願いします。

※お申し込みは、市P協サイトよりお願いします。

※事務局より返事が無い場合は、受信設定と迷惑メールフォルダの確認をお願いします。